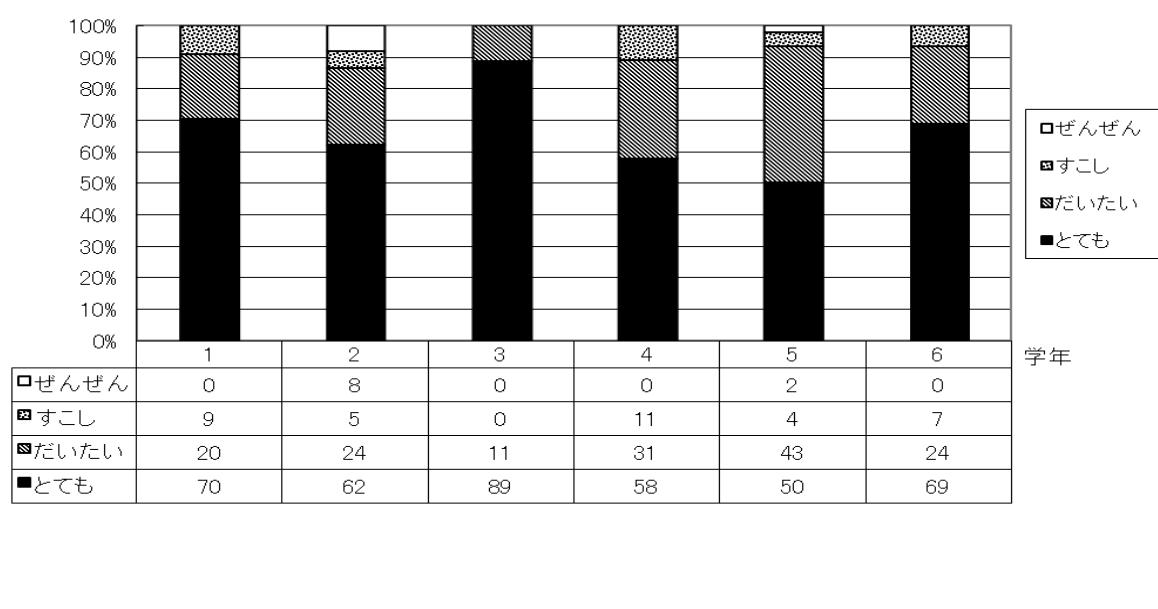


グラフの見方

グラフの単位は、図10以外はすべて学年の割合(%)になっています。軸項目の「とても」は程度が高いこと、「だいたい」はますますの程度であること、「すこし」は程度が低いこと、「ぜんぜん」はまったくそのようないことを表わします。また、横軸の数字は学年を表しています。グラフの上段は前期の、下段は後期のアンケート結果です。

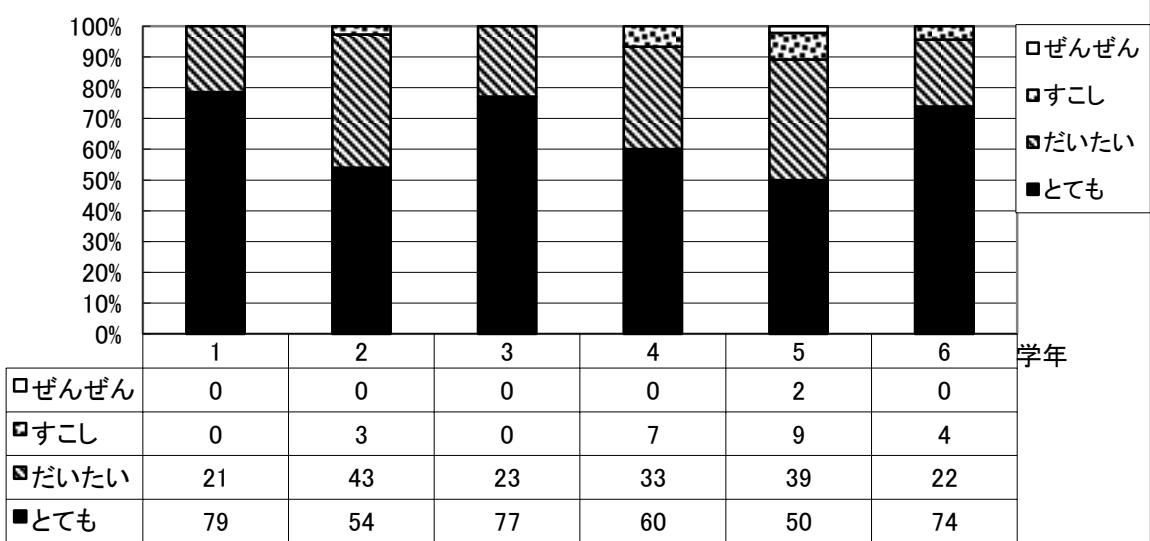
令和元年度前期

1 学校は楽しいですか



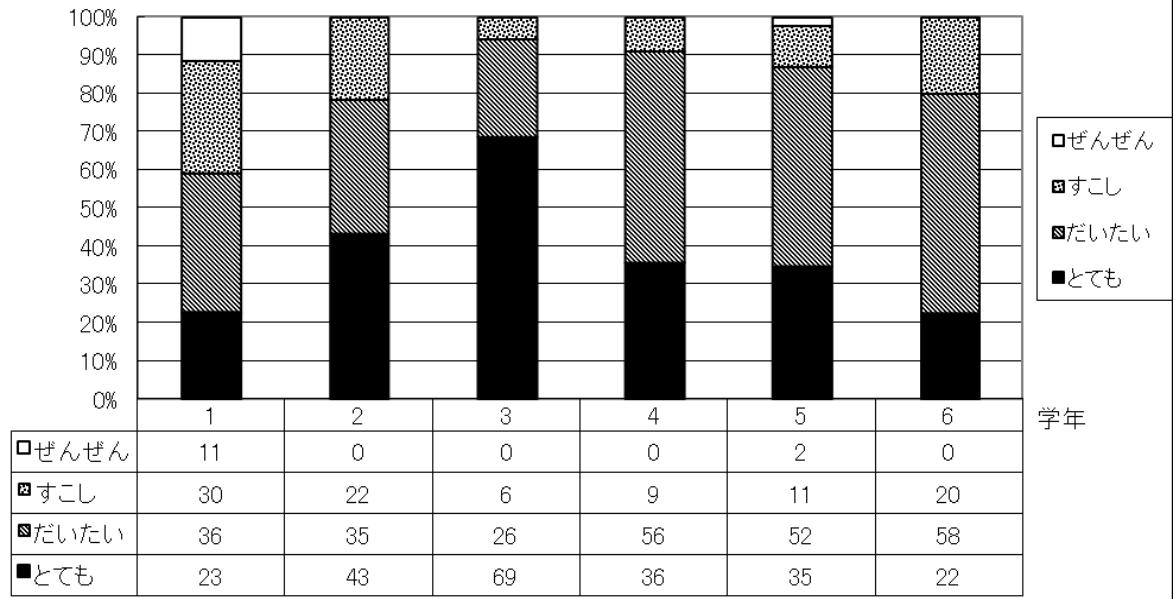
令和元年度後期

1 学校は楽しいですか



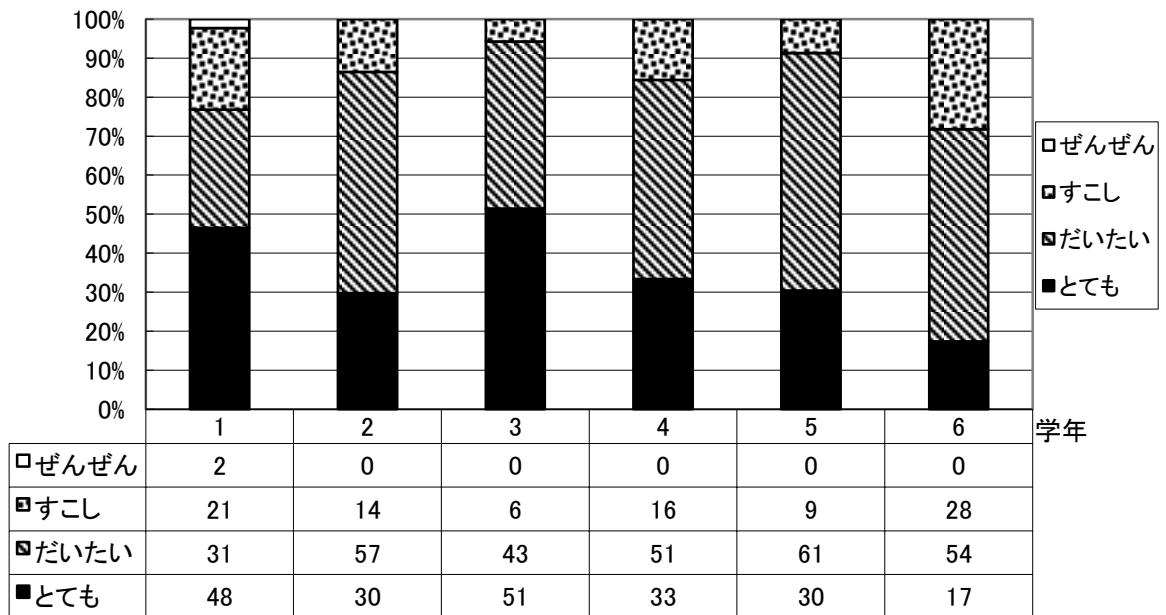
令和元年度前期

2 授業中、友だちの話をよく聞いて、自分の考えを伝えていますか



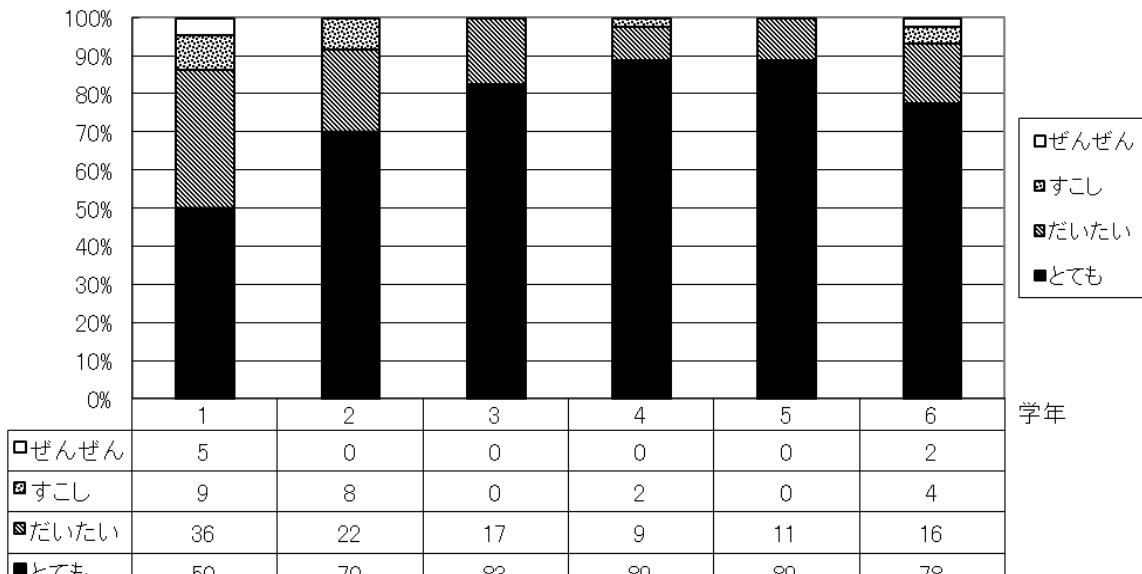
令和元年度後期

2 授業中、友だちの話をよく聞いて、自分の考えを伝えていますか



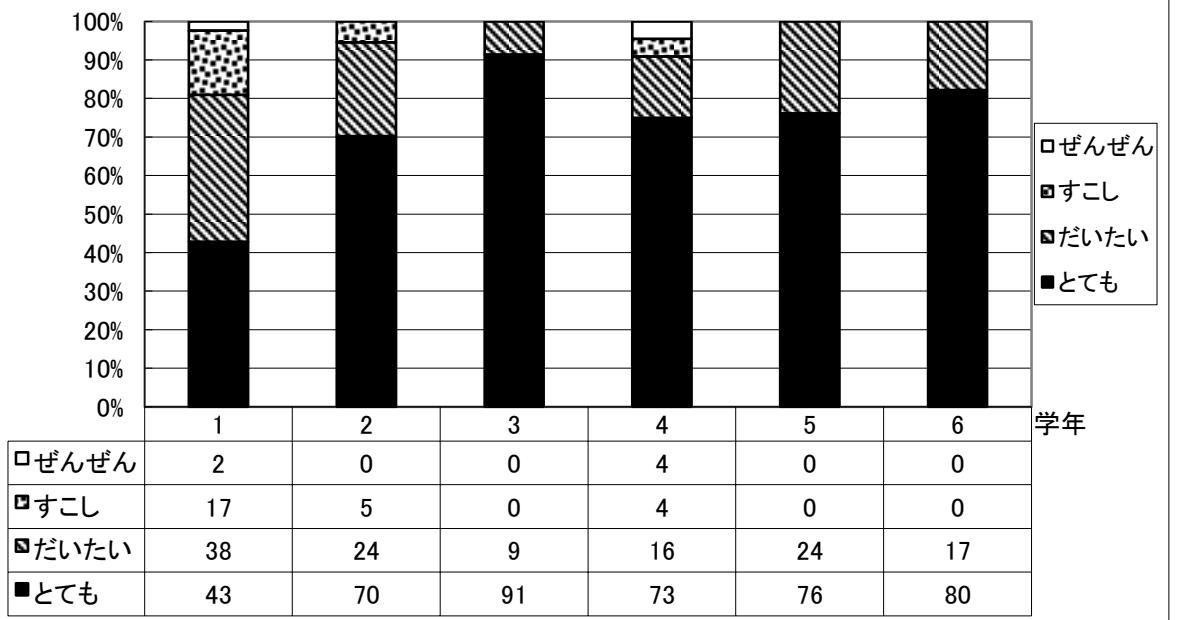
令和元年度前期

3 学校で一緒に遊んだり、おしゃべりをしたりする友だちはいますか



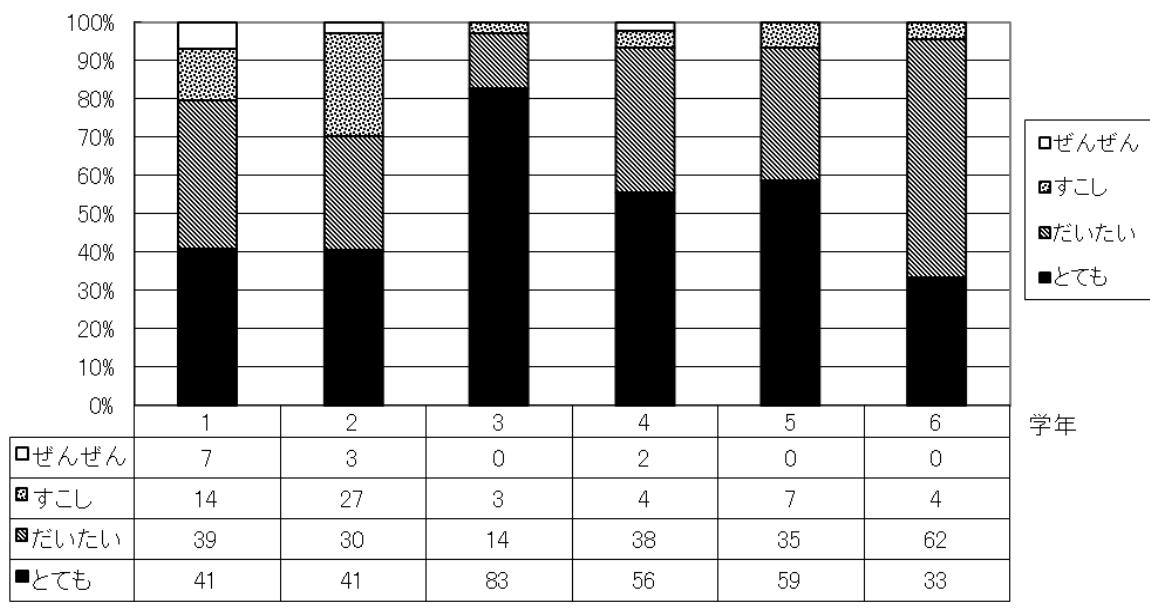
令和元年度後期

3 学校で一緒に遊んだり、おしゃべりをしたりする友だちはいますか



令和元年度前期

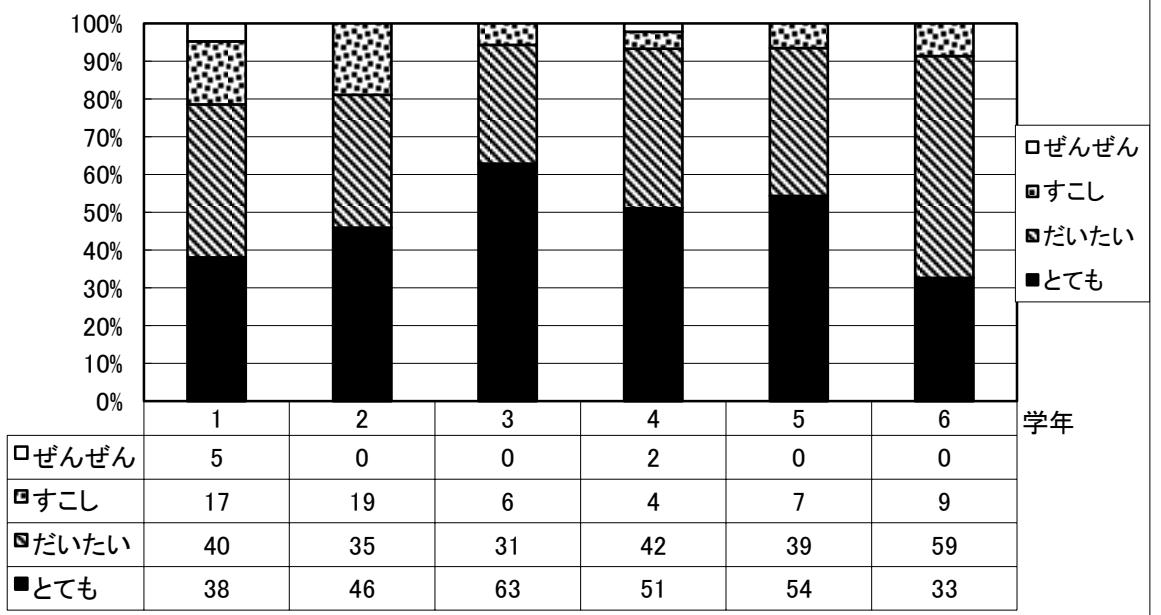
4 元気よくあいさつができますか



学年

令和元年度後期

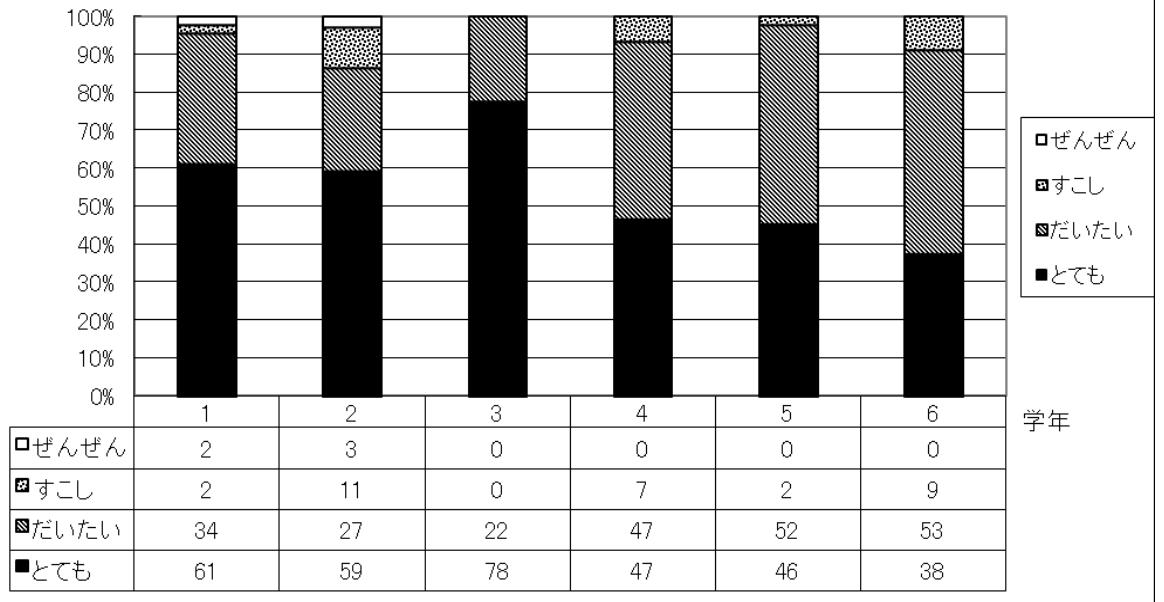
4 元気よくあいさつができますか



学年

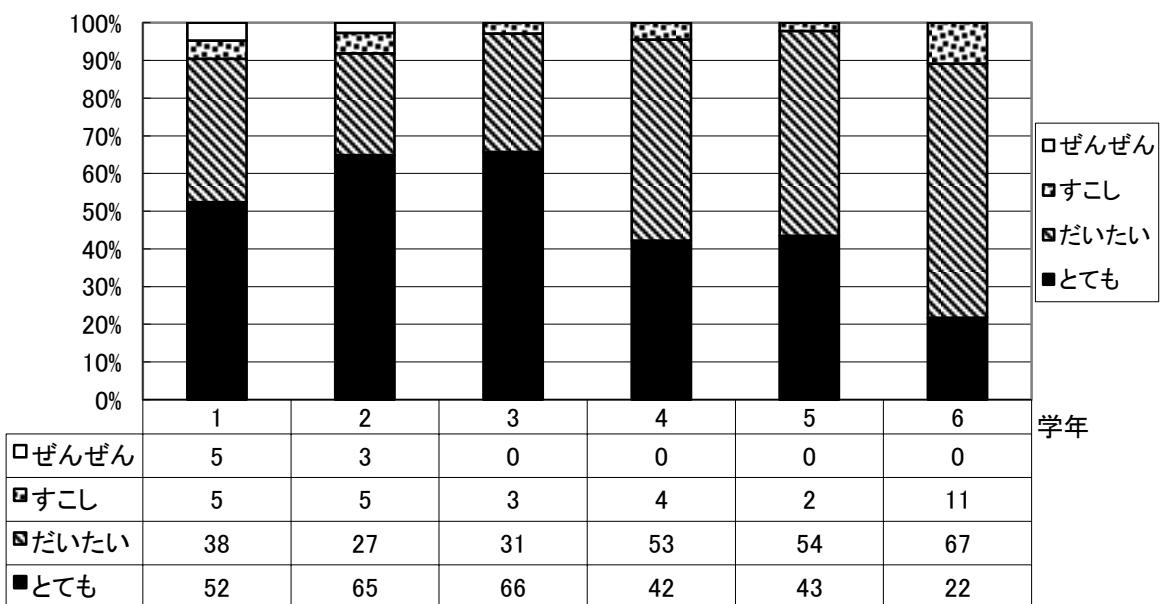
令和元年度前期

5 先生や友達の話をしっかり聞けますか



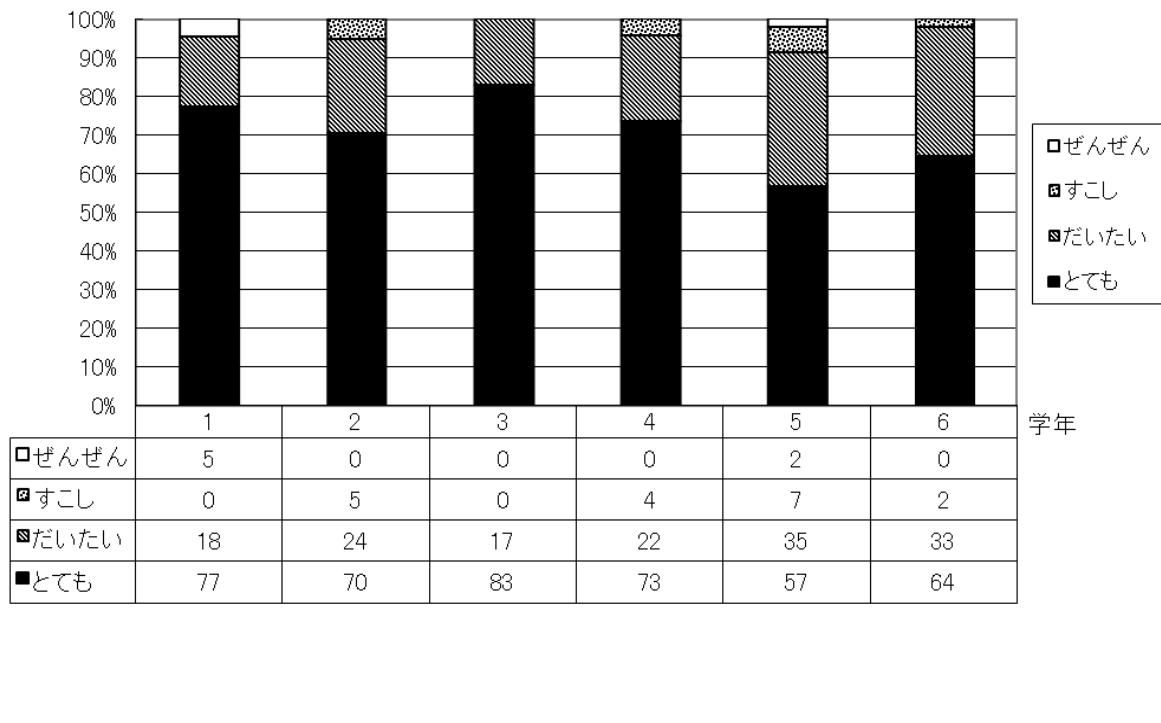
令和元年度後期

5 先生や友達の話をしっかり聞けますか



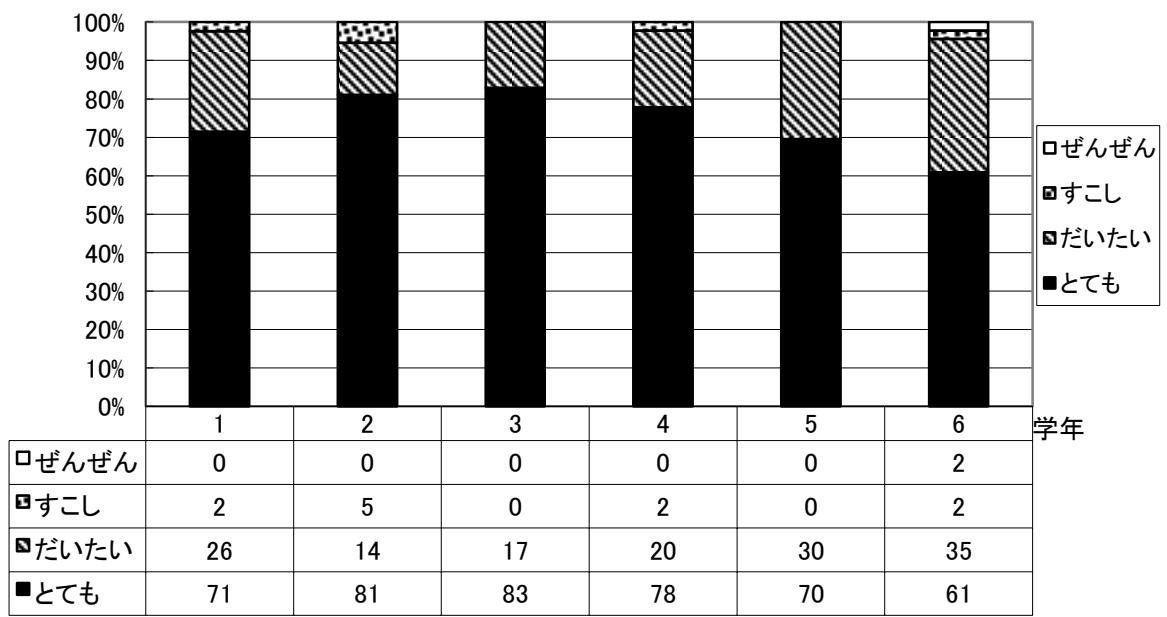
令和元年度前期

6 そうじ当番がしっかりできますか



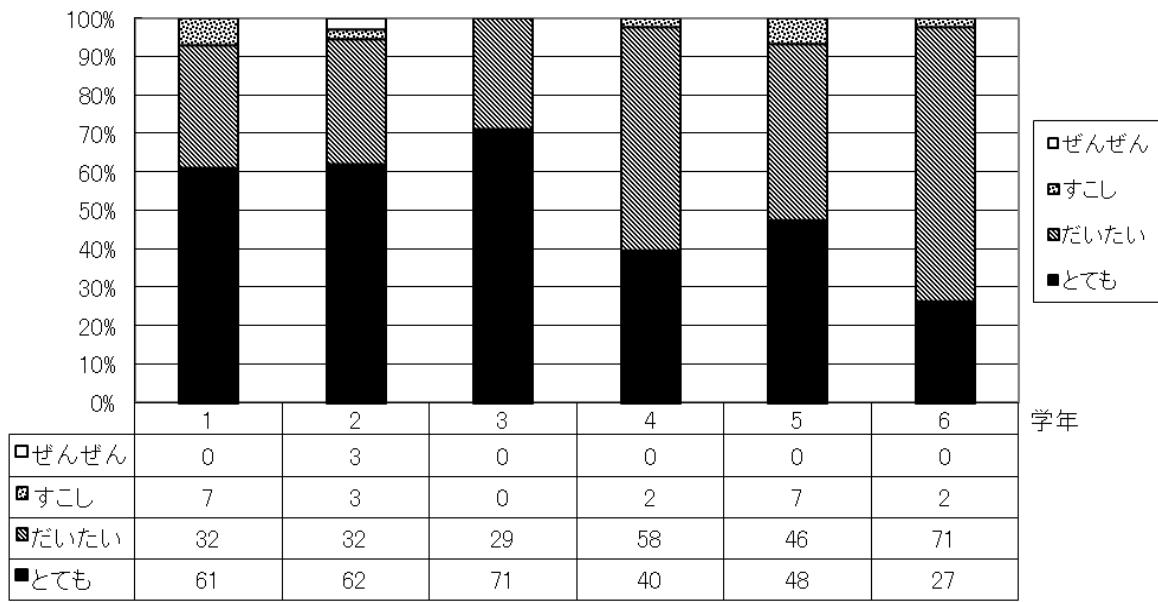
令和元年度後期

6 そうじ当番がしっかりできますか



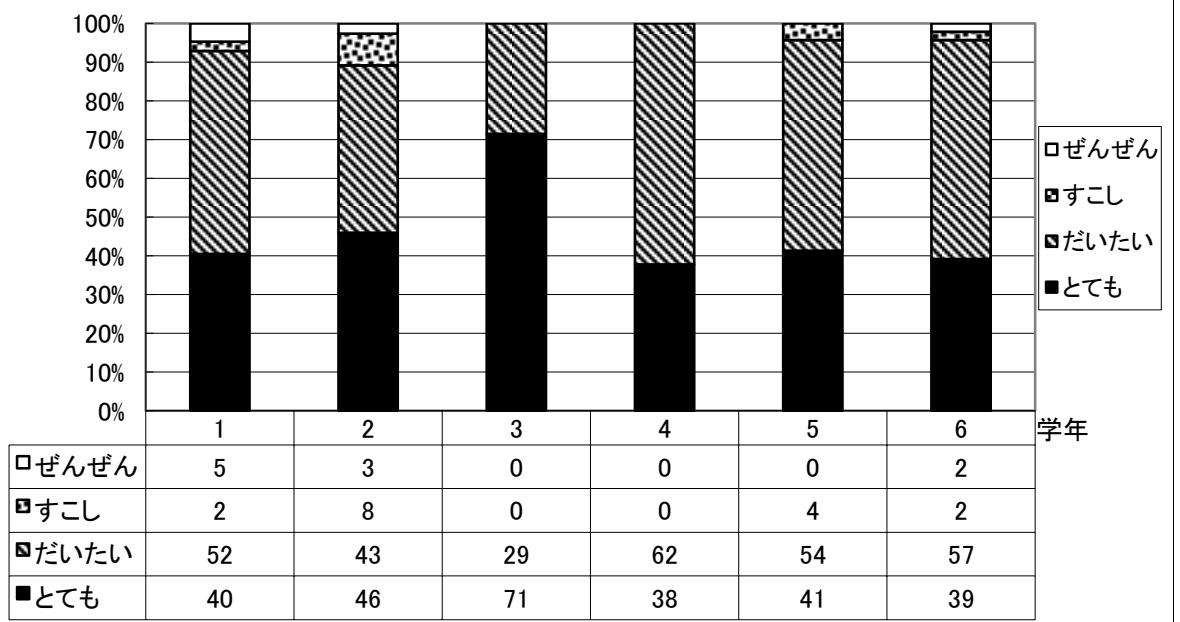
令和元年度前期

7 学校の約束や決まりを守っていますか



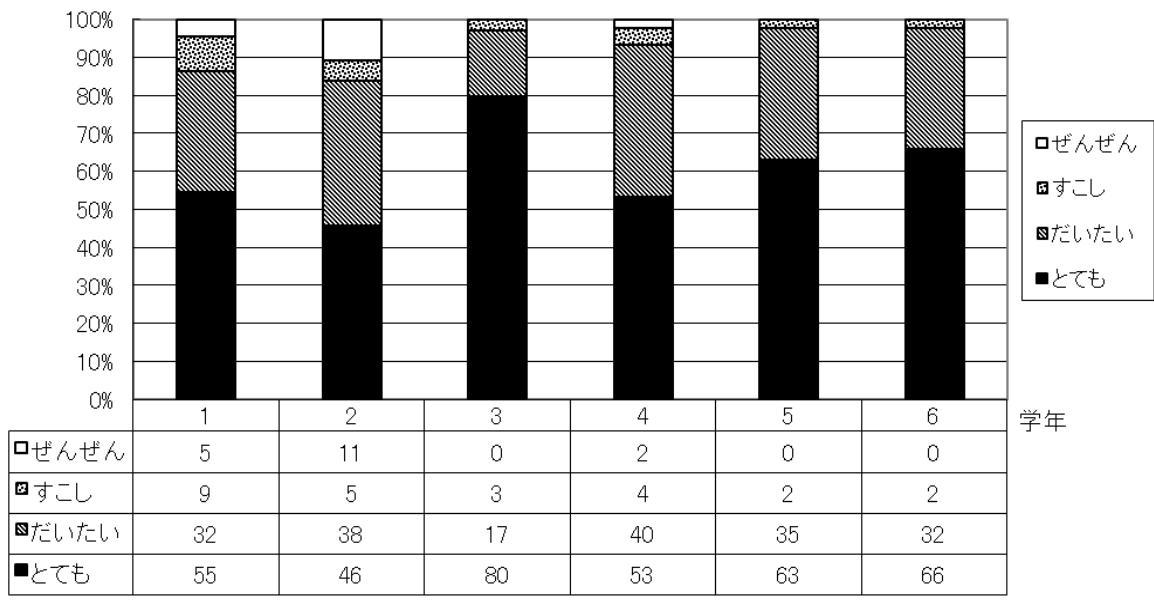
令和元年度後期

7 学校の約束や決まりを守っていますか



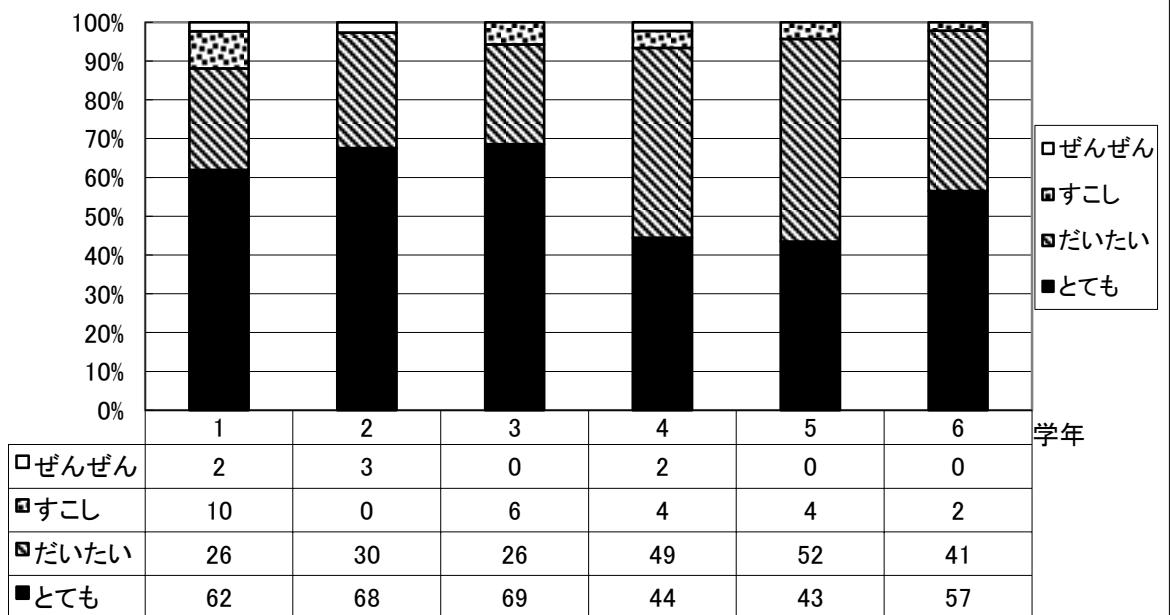
令和元年度前期

8 授業はよくわかりますか



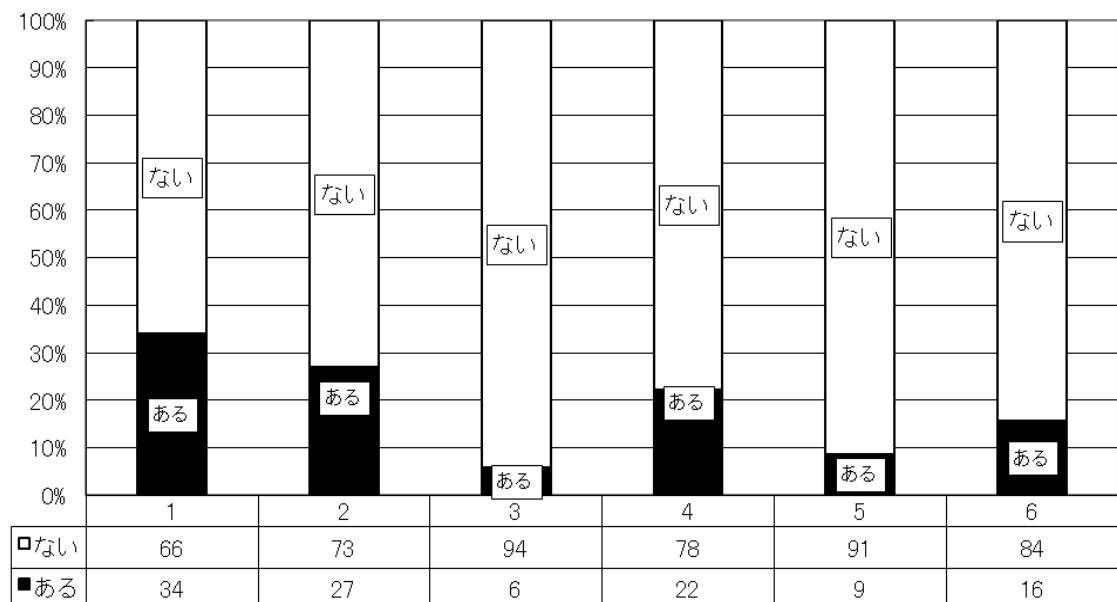
令和元年度後期

8 授業はよくわかりますか



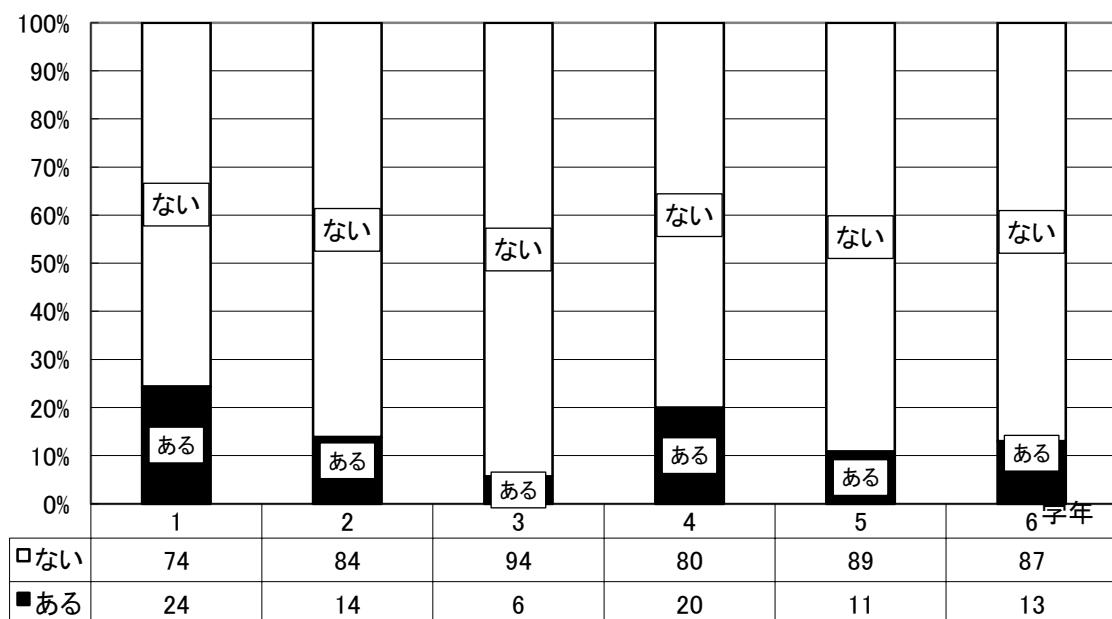
令和元年度前期

9 学校生活でこまっていることがありますか



令和元年度後期

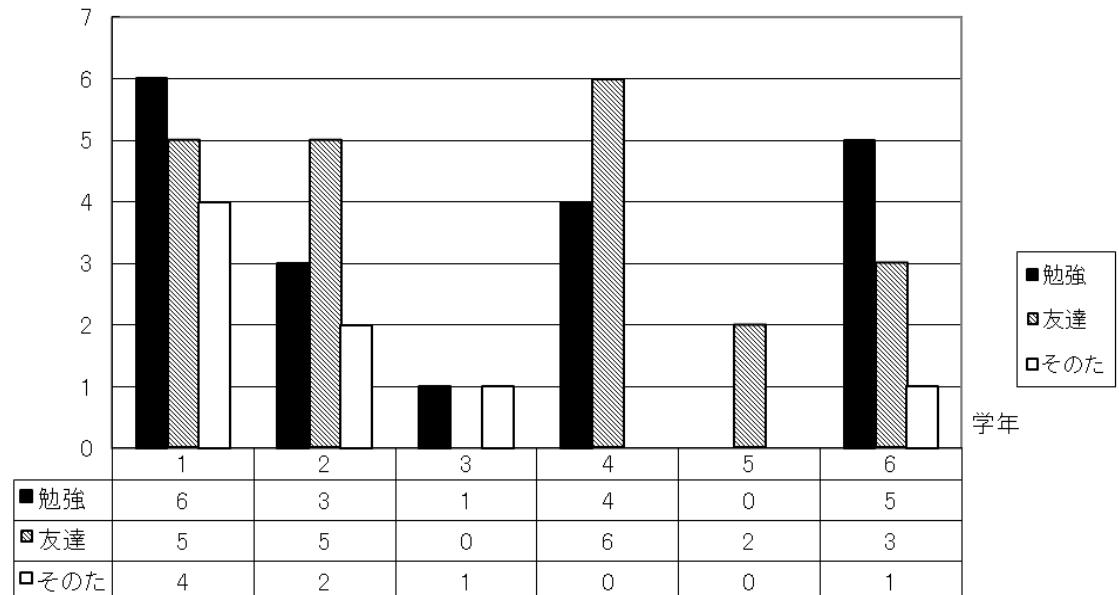
9 学校生活でこまっていることがありますか



令和元年度前期

10 どんなことで困っていますか

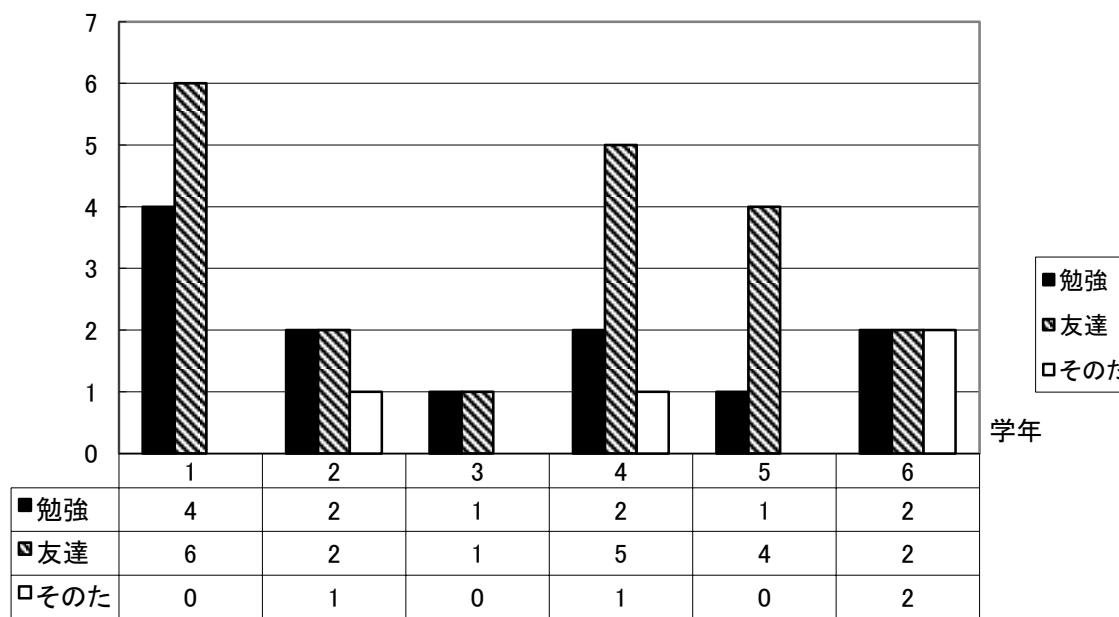
人



令和元年度後期

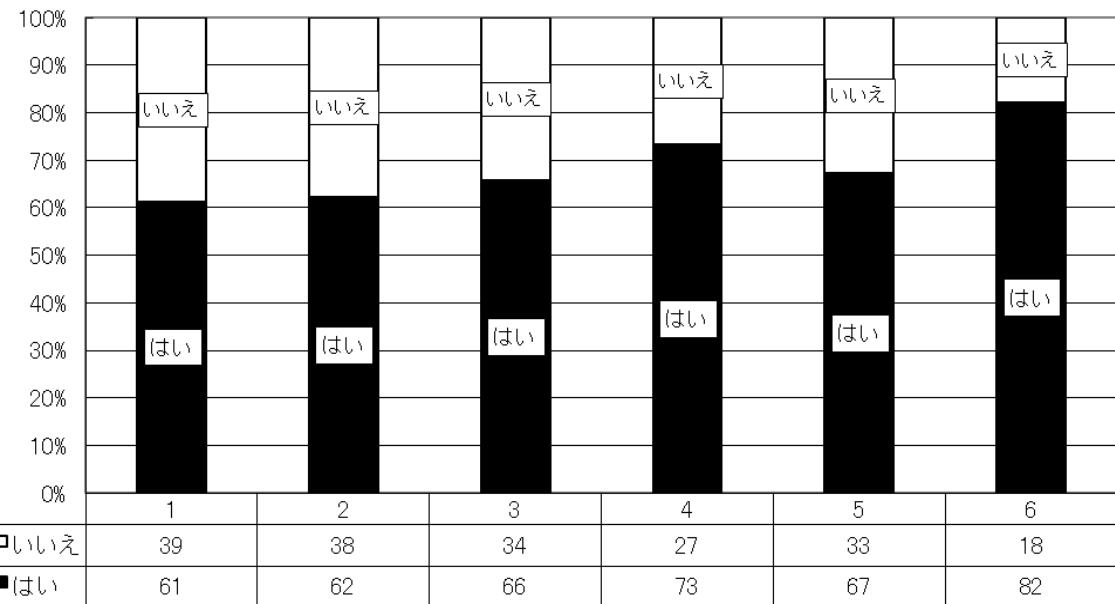
10 どんなことで困っていますか

人



令和元年度前期

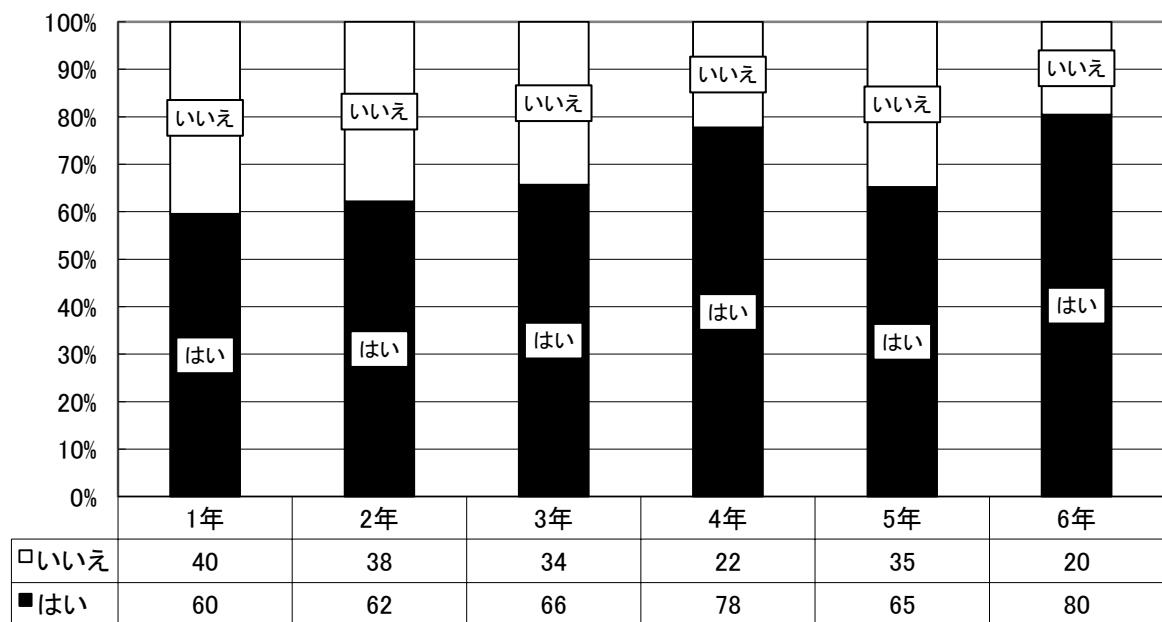
11 あなたは自分の携帯ゲーム機・携帯音楽プレーヤーを持っていますか



学年

令和元年度後期

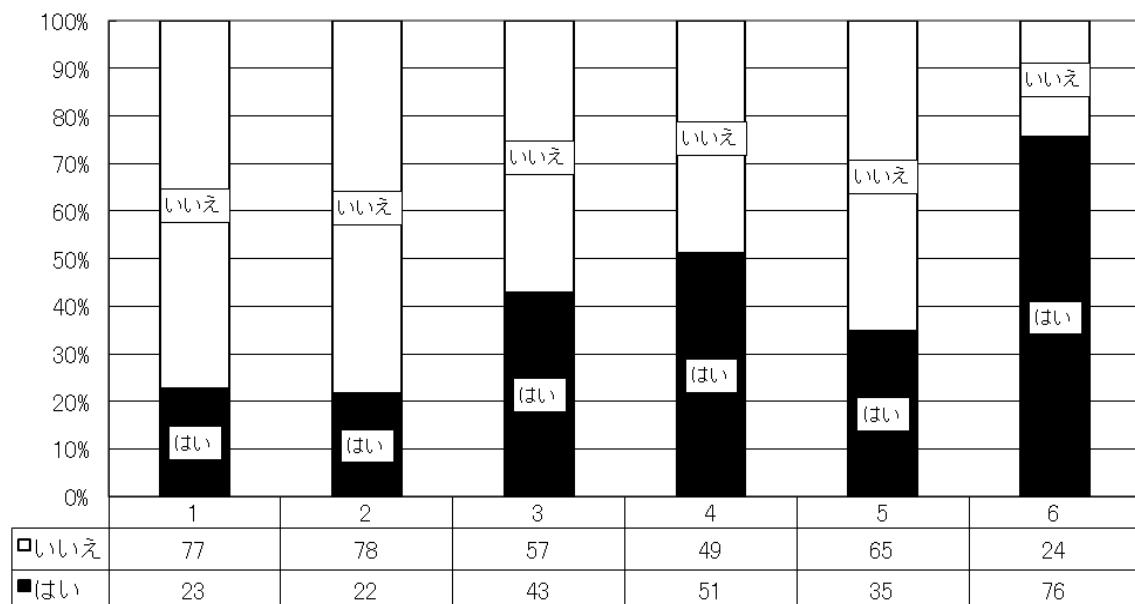
11 あなたは自分の携帯ゲーム機・携帯音楽プレーヤーを持っていますか



学年

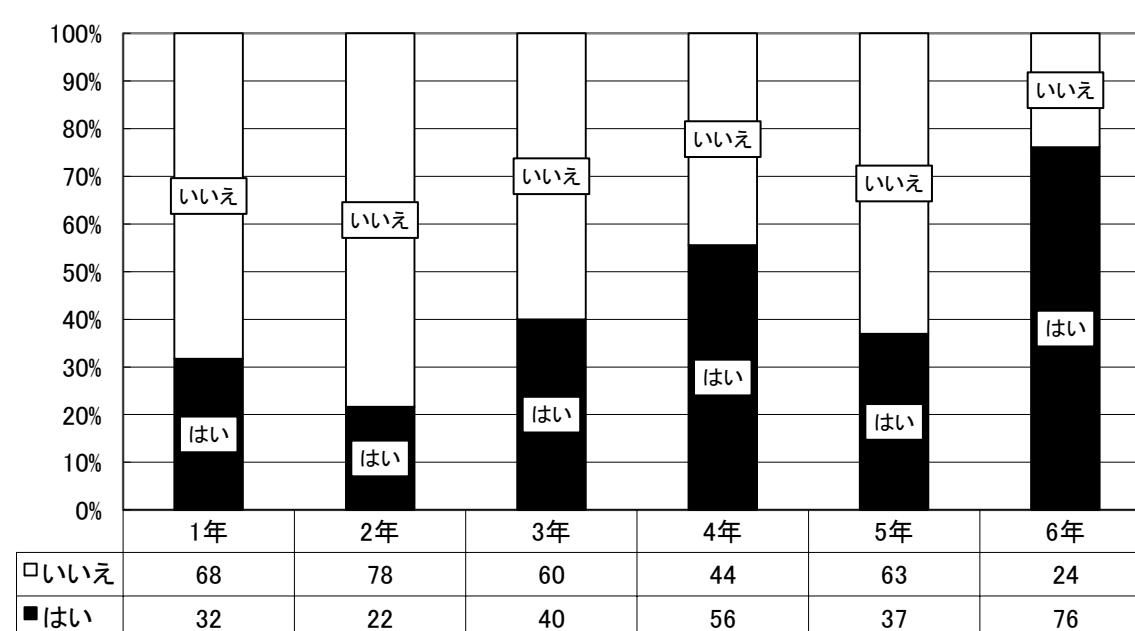
令和元年度前期

12 あなたは自分の携帯電話・スマートフォンを持っていますか



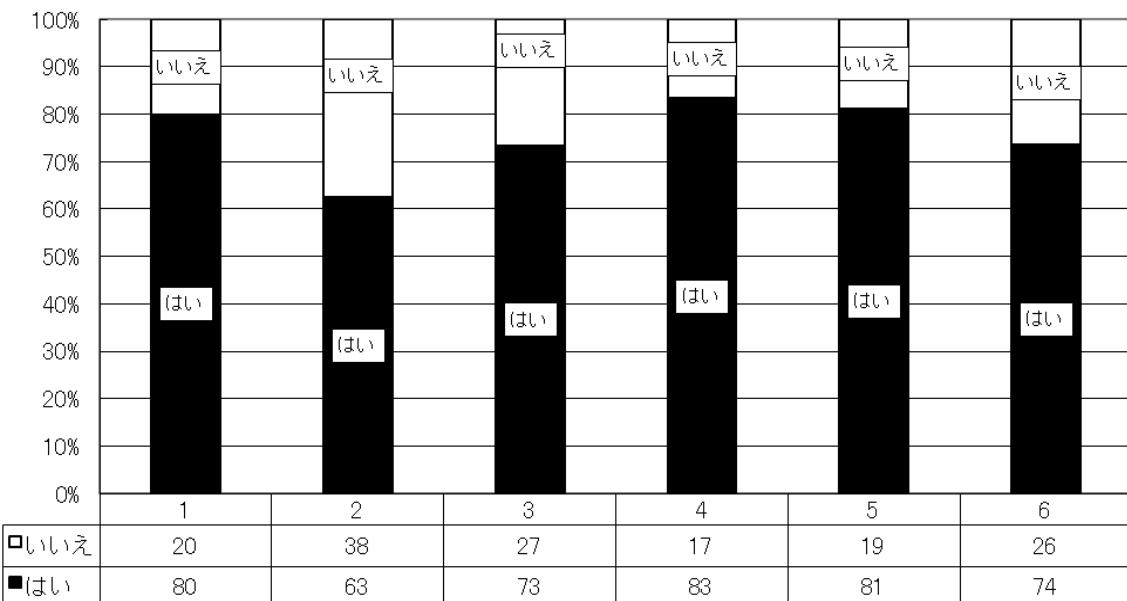
令和元年度後期

12 あなたは自分の携帯電話・スマートフォンを持っていますか



令和元年度前期

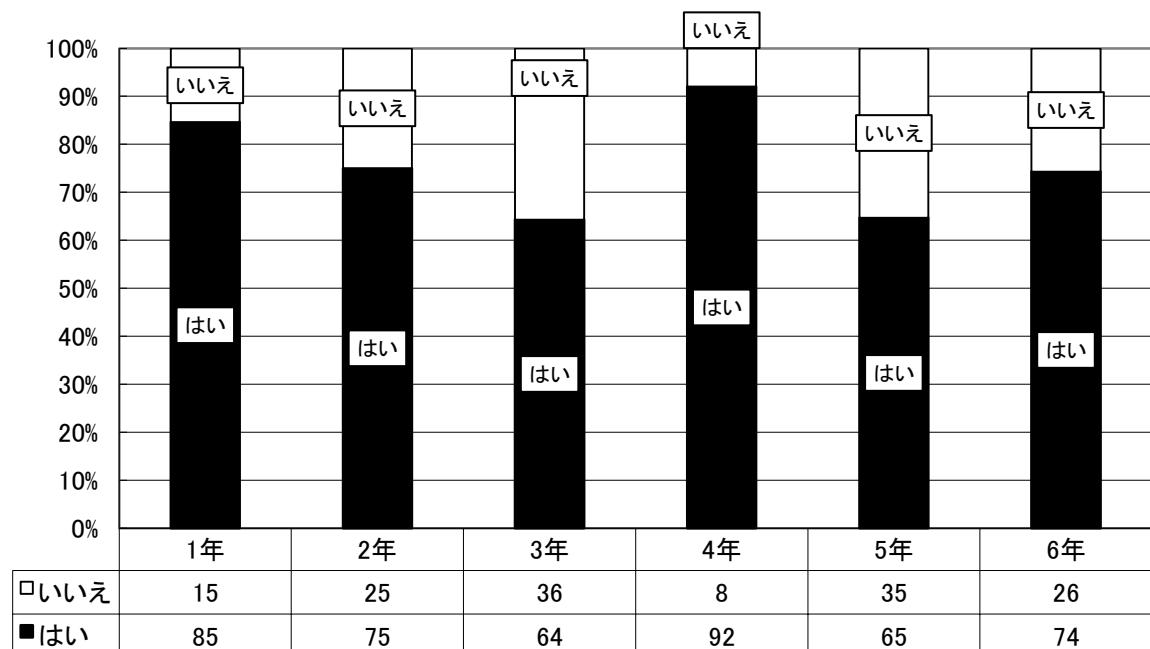
13 あなたのお家では、家庭内で携帯電話・スマートフォンを使う時のルールがありますか



学年

令和元年度後期

13 あなたのお家では、家庭内で携帯電話・スマートフォンを使う時のルールがありますか



学年

学校評価・児童用アンケート結果から

児童自身の自己評価力がちがいますし、学年の実態によっても、評価のつけ方もちがうと思いますので、今回の結果が“正確な結果”とは言い切れないことを前提として下さい。

【1～8の項目について】

全校的な傾向としては、「授業への意欲」「あいさつ」を除く6項目について、「とても」「だいたい」の割合が90%を超えてます。一方、「授業への意欲」「あいさつ」については、1学期末の自己評価においても、課題点として挙げられている項目でした。それでも、1学期末と比べると、低学年の学習意欲が高まっています。「友だち」「学校生活」「そうじ当番」「授業理解」も含め、1学期末の評価よりも改善傾向が見られます。低学年への支援が、成果として表れているのではないかと思います。その反面、支援が十分に行き届かなかつた中・高学年では、「学校生活」「授業への意欲」「授業理解」などで、課題が見られました。改めて、全校体制での支援の重要性を痛感しました。「そうじ当番」については、教師の指導だけでなく、児童会とともに取り組んだ成果があらわれているのではないかと考えています。

評価結果から、今後の指導について、提案します。1学期末同様に、進んで授業に参加する・あいさつをする意識を高めていきましょう。そのためには、「主体的、対話的で深い学び」を取り入れた授業の改善が必要です。校内研でも取り上げ、組織的な取り組みとしましょう。授業を改善することで、「聞き方」「授業理解」も改善していくはずです。特に、中・高学年では、「教師が教える内容」と「児童に考えさせる内容(答えが一つではない問題など)」を明確にして、考えさせる場面では児童同士の関わりを増やし、児童自らが結論を導き出すような授業を仕組んでいくことも考えられます。また、低学年では、「きまりを守る」意識(規範意識)を高めていく必要性もあります。全校組織として、改めて、「飯野プリンシブル」を意識した指導を徹底していきましょう。

【9・10の項目について】

1学期末の評価と比べると、困りごとのある児童の割合は減ってきてます。課題の見られる児童に対しても、担任教師をはじめとして、多くの先生方に関わっていただいた成果だと思います。学習面での困りごとが減っていることは、先生方の適切な学習指導のおがけだと考えています。友だちと関わり合う機会が多くなってきたことで、困りごとの内容としては、勉強面よりも、友だち関係の内容が増えています。児童からの相談に対しては、共感的に聞いた上で、適切な指導・助言を心がけていきましょう。

【11～13の項目について】

携帯ゲーム機や携帯音楽プレーヤー、携帯電話・スマホの所有率は、前回とさほど変わっていません。これは、購入時期が関わっているのかもしれません。(学年始めやクリスマスシーズンなどに購入する家庭が多いのかかもしれません……)ただ、1年生のスマホ所有率が10%ほど高くなっています。

携帯電話・スマホを使うときの家庭内のルールづくりについては、まだまだ十分とは言えません。学年だよりや学年部会、懇談会、家庭訪問などの機会を通して、ルールづくりの必要性を伝えていきましょう。また、情報教育の一環として、「SNSノート 情報モラル編」という教材もあります。データのダウンロードもでき、講師派遣も無償だそうです。携帯電話・スマホ所有率が40%を超える本校ですので、6年生に限らず、携帯電話・スマホの正しい使い方について学ぶ機会が必要だと思われます。ちなみに、今年度、6年生で実施した「スマホ教室」は、昨年度、南アルプス市教育委員会からの情報を得たものを実施したもので、継続性はありません。